

第6期 麻生区区民会議 第6回全体会議

- 1 開催日時 平成30年2月20日(火) 午後3時～午後4時16分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
安藤委員、植木委員、海崎委員、佐藤委員、佐野委員、菅野委員、
鈴木(昭)委員、鈴木(隆)委員、関根委員、高倉委員、高橋委員、
長岡委員、橋本委員、林委員、松田(基)委員、松田(通)委員、
吉垣委員
(欠席) 石井委員、緒方委員
[参与]
老沼参与、勝又参与
(欠席) 雨笠参与、木庭参与、月本参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、
石川参与
[事務局]
安藤課長、福島担当係長、西倉、長瀬、榎本
[関係者]
北沢区長、山口副区長、長谷川区民サービス部長、
若尾保健福祉センター所長、猪又保健福祉センター副所長、
佐藤保健福祉センター担当部長、吉澤危機管理担当課長、
中村地域振興課長、三枝生涯学習支援課長
(欠席) 井上総務課長、太田道路公園センター所長
- 4 傍聴者 1人

第6回麻生区区民会議

日 時 平成30年2月20日（火）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

1 開 会

植木委員長 皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただ今より第6回麻生区民会議を開催いたしたいと思えます。

今日はちょっと暖かくなってまいりましたけれども、今年は大変寒い日が続いております。またインフルエンザが猛威を振るったということで、かくいう元気者の私もインフルエンザにかかりまして、2週間ほど皆さんの邪魔をするような形になって大変申し訳なかったと思っております。その間、7区の区民会議の懇談会とか、それから一番重要な区民会議フォーラム等々につきまして、皆様に十分頑張っていたいただいのおかげで何とか無事に終了できたということをお聞きしておりますので、改めて感謝を申し上げたいと思っております。

また、この区民会議も第6回ということで、残すところあと1回になりました。月日が経つのは早いものだなと感じておりますけれども、第6期ということで、冒頭お話ししましたように、第5期までの10年間を振り返ってどんなことができ、どんなことができなかつたということベースに、ぜひこの第6期につきましては、そこら辺に視点を置いていろいろなご提言をしたいというようなお話を申し上げたと思っております。そういった意味で、両方の部会につきましては、具体的な提案をそろそろまとめ上げる時期になってきていると思っておりますので、そこら辺について議論を交わすのは今回が最後になると思っておりますので、ぜひそこら辺を含めましていろいろな議論を深めていただければと思っております。

なお、まだ私は70%ぐらいの調子なので、声も余り元気がないと思っておりますけれども、ひとつご容赦をいただきたいと思えます。

2 議 事

植木委員長 それでは、本日の議事並びに資料につきまして、事務局より確認をお願いいたします。

事務局 それでは、事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

お手元の資料、まず一番上に本日の会議の次第がございます。次に、資料1として麻生区区民会議の席次表、資料2として麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3として麻生区の魅力の発掘・発信検討部会の調査審議状況というA3の資料でございます。また、検討資料として、魅力発信冊子のイメージとして折り込んだ見本をつけて

おります。次に、資料4として市民活動・絆づくり部会の調査審議状況、A3のものでございます。次に、資料5として第6期麻生区区民会議報告書作成スケジュールについて、A3のものでございます。次に、資料6として第6期麻生区区民会議報告書の構成について、A4横のものでございます。資料7として麻生区市民提案型協働事業審査委員会委員の推薦について、A4のものが1枚でございます。参考資料1としまして、第5回麻生区区民会議議事録がでございます。

以上でございます。資料に不足等がございましたら事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。次第をご覧ください。2の議事といたしまして、次の3点についてご審議をお願いいたします。第1として、第6期麻生区区民会議調査・審議課題等について、2として区民会議報告書について、3として区民会議からの麻生区市民提案型協働事業審査委員会委員の推薦について。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(1) 第6期麻生区区民会議調査・審議課題等について

ア 麻生区の魅力発掘・発信検討部会の検討経過及び意見交換について

植木委員長 それでは早速、議事に入りたいと思っておりますけれども、今日は大変お忙しい中、老沼参加が参加していただいております。都合上、途中で退席されるということでございますので、よろしく願い申し上げたいと思っております。ありがとうございます。

それでは早速、議事の(1)第6期麻生区区民会議調査・審議課題等についてに入っていきたいと思っております。

まず初めに、アの麻生区の魅力発掘・発信検討部会の検討経過及び意見交換を行いたいと思っております。麻生区の魅力発掘・発信検討部会の林部会長から検討経過の報告をお願い申し上げます。

林副委員長 それでは、林からご報告申し上げます。資料3をご覧ください。併せて、資料3をご説明するうちに「親子で体験するともっと楽しいあさお」、これは仮の題ですけれども、こちらを使用いたしますので、横に置いてお話を聞いていただければと思っております。私どもの麻生区の魅力の発掘・発信検討部会で提言に向けた検討まで審議は進んでおりますけれども、これまでの審議内容を前回は振り返りましたが、まずそこを前提にということで、そちらの方からご説明させていただきたいと考えております。

まず、私どもの部会では、魅力の発掘・発信を検討した経緯については大変重要に考えておりまして、背景のところですが、将来の予測としては、麻生区の少子高齢化の進展を非常に憂慮すべき事項と考えておりまして、それに対する対策とし

て、若い人たちが麻生区に来てもらうだけではなくて、ずっと住み続けて、その子どもたちにもまた麻生区を好きになってもらって住み続けてもらいたい、そういったふるさと感を育てていきたいというところを重点に置いているというのを念頭に置いて、常にここに立ち戻るようにして審議を進めております。ですので、単純に魅力を発信するだけではなくて、その奥にはふるさととしての麻生ということが根底に流れていることを確認しつつ進めております。

若い世代がこれからも麻生区に住み続けたいと思えるような区の魅力を感じ、そしてそれを魅力として受けとめる、そういった情報発信の仕方を考えていきたいと考えております。その子育て世代のうち、やはり親と子が一緒に体験することでより深い体験になるのではないかとということで、私たちの検討部会の中では、小学生を持つ子育て世代を中心に検討を進めていくことを確認しております。

審議テーマも「ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～」ということで、誇りを持って麻生区に住み続けるという思いを込めて、このようにしております。

発信方法の検討につきましては、まず何を発信するかということで魅力の検討を進めてまいりました。麻生区の付加価値と言えるものは何かということ十分に議論したと考えております。「自然と農」、「芸術のまち」、「市民活動が盛ん」であることを発信していこうということで部会の中では確認しておりました。

そして、発信の方法についても、まずは知れば、分かって良さそうだなと思えば今はSNSが発達しておりますので調べることができるので、まず最初に知るきっかけをつくるというところに着眼いたしまして、これはちょっと良さそうと思ってもらえるようなチャンスを数多くつくっていききたいというところで進めてまいっております。

そして、9月に行われました子育てフェスタでは、私どもが考えております3つの麻生区の魅力が本当に子育て世代に受け入れられるのか、そして私たちが考えている発信方法がそういった世代にマッチしているのかということヒアリングを通じて調査いたしました。その結果が問1、問2に書かれておりますけれども、若い方々にお伺いしたところ、魅力に関する認識のずれはないというアンケート結果になっております。そして、肝心の発信方法につきましては、家庭内に持ち込まれる情報の方が親子で見て参加のきっかけ、知るきっかけになりやすい、それも信頼度が高い、公共機関で配られている、そういったことが参加のきっかけになるということがわかりました。くしくも先日行われました区民会議フォーラムでも小学校に配ったチラシの方が大変信頼度が高いというようなアンケート結果が出たと私どもも聞いておまして、私どもが子育てフェスタでヒアリングをした結果とマッチしているよねということを確認させていただいております。

その中でも、先ほども申しましたようにSNSが発達している時代ですけれども、

やはり初見という点では紙媒体での情報発信、手元に残るものということで、ヒアリングでもそちらを支持する方が多かったという結果が出ております。とはいうものの、やはりSNSだよねという方も多くいらっしゃるので、そちらは提言の内容に活かしていくというふうに進めております。

発信場所につきましても、やはり区役所、市民館、図書館といったような公共施設に置いてあるものは信頼度が高いということ、そして幼稚園、保育園、小学校といったところからお手紙としてもらってくるものは、やはり親としては信用して、子どもと一緒に出かける、子どもを出かけさせることにつながるということも分かりました。

そういった話し合いを進めていく中で、実際にどういうものをつくったらより効果的なのかというところに焦点を当てて今は審議を進めている最中ですが、提言に向けた検討の中では、提言1としまして、子育て世代に向けた情報発信は強化したほうが良いという考えを提言したいということでまとめております。そのためには区民も入った中での情報発信の効果を年々追いかけていくような組織づくりが必要なのではないかとということで、提言1の形で検討しております。単純に、今年度は冊子の形を検討しているわけですが、やはり時代は移りゆくものですので、いずれはSNSで初めて知るという方々も多くなっていく時代にどんどん変わっていくと考えられますので、冊子の効果を年々はかっていく、検証していくことは重要だよねということは部会の中で確認しておりますので、それを追いかけていって、より効果的に発信するための組織づくりは必要だよねという方向性を考えております。

子育てフェスタのヒアリングの結果でも分かりましたように、提言2では、今年の場合は冊子の作成がとても効果があると私たちはさまざまな活動を通して実感してまいりましたので、冊子の作成をまず近々ではやってみてはいかがだろうかということをご提案したいと考えております。冊子の概要につきましては、関心を持って見られるものということで、次のページに行っていただきまして、冊子のレイアウト案になっております。レイアウトということでA4の見開きになっておりますけれども、小学生に配布させていただいて、家庭で気軽に見られるのはB4判、B5判かもしれないということで、どちらかで検討していきたいというところまで意見がまとまっております。

一番最初にはキャッチーな文言を入れていきたいということと、1枚めくって、まず麻生区とはどういう区なのということで少し今昔を交えた麻生区の成り立ち、麻生はこういうふうに進展してきているよねと比較をするわけではなくて、新しいいいところ、古いいいところ、そういったものが混在するまちでもありますので、そういった意味で単純に今と昔を比べるのではない魅力の描き方をここではしていきたいというふうな話し合いになっております。

そして、右側のページですけれども、今は文言がそのまま張りつけてありますけれども、私どもが考えて、子育てフェスタで賛同を得られました魅力に関しては、イラストを交えた形で麻生区はこういう魅力があるまちだよねということを広くお知らせしていきたい。

それを納得した上で中を開いてみますと、ちょっと今は四角いグレーの枠が並んでいるばかりなのですが、こういったところにさまざま区内で行われている行事、イベント、企画等の実際のもが入りまして、下の方には年間スケジュールという形で見やすい形でまとめていく。そして、ここでこういうのもやっているんだね、こういうところへ行ってみたいねと親子で納得したら、一番最後のページにあるここに問い合わせると、さらにさまざまなイベントの紹介もあるよねというところで、区内にある今さまざまな活動をしている団体に橋渡しするというような役割も持った小冊子にしたいねということで、文言で書きますと、資料3の2の四角にあります1ページが表紙、2ページが麻生区の歴史、3ページが麻生区の魅力、4ページから7ページがマップで、8ページが既存媒体の紹介ということで私どもは基本的な形を考えました。

発信場所についてですけれども、まずは学校で配ることで家庭内に持ち込んでもらうこと、そして公共機関に置いて誰でも手にとれること、それには麻生区の魅力コーナー、こちらでご紹介しましたような他の団体のさまざまな情報も一緒に並列して置けるような場所が必要だよねということを考えております。ホームページでも見られるように、将来SNS化がどんどん進んで、それにほぼ移行していくというふうに私たちは考えておりますけれども、それに向けてあわせて進展させていく必要があるということも書いております。

では、それを誰が進めるのかというところに今議論が集中しているところで、あと1回、2回はここを中心に議論を進めていきたいと考えておりますけれども、編集委員会準備会のようなものを立ち上げて、まずは1つ試しに作ってみるということから始めてはいかかかということで、次の部会の中でさらに掘り下げてそちらの構成について考えていって、提言につなげていきたいと考えております。

右側のページには麻生区の魅力を参考資料として載せていただいております。どうぞよろしく願いいたします。

植木委員長 林部会長、ありがとうございました。

それでは、今のご説明につきまして、同じグループの方からこんな点を皆さんにちょっと知ってほしいというような点がありましたらフォローをお願いしたいのですが。よろしいですか。

菅野委員 完璧な説明でした。

植木委員長 そうですか。完璧ということで褒められたようでございますけれども、それでは、他の部会の方から、もうちょっとこんなところをどうしたらいいとか、本当に

できるのとか、そんなことを含めまして何かご意見をいただければと思いますが、海崎委員、どうですか。

海崎委員 実は、余りこだわらなくていいのですけれども、前回の交流会で宮前区の冊子「ぐるっとみやまえ」をいただいたのです。これは20何ページあって、どういう魅力があるのか分かりませんが、とにかくグルメとかを含めてやっていると。だから、物事の考え方だと思うのですけれども、まずこれをやってみる。魅力の発信を試みる。魅力の発信に特化して何か作ってみよう。ただ、私の知っている限りでは、ウォーキングでいい冊子とか、今現在いろいろありますよね。その辺との関係をどうするかとか。だからコンセプトを固めた方がいいのです。それはこっちだと。3つの魅力を今回発信していくのだと。ただ、お子さん向けも考えるので、広報で言うと配布先が小学校というのは継続された方がいいと思うけれども、前回のフォーラムのあれで。集中してやるということだと思うのですけれども、その辺も考えられて、集中するなら集中するというので、パーフェクトだと思いますよ。

林副委員長 ありがとうございます。

植木委員長 他にございませんか。

では、私のほうから。こういう情報発信の冊子というのはいろいろなものが出てくると思うのですけれども、逆に子どもを対象とするのは大変難しいのではないかと思いますし、それなりの工夫というのは今までにない要素が入ってくるのではないかと思いますので、そこら辺を含めて編集委員会準備会というのは今までとは違った視点での準備会にしていかないと、既存のものと同じようなものができ上がってしまうのでは意味がないのではないかなと。ここら辺のことをよくやっていますので、私はそう感じますので、ぜひそこら辺を検討していただければと思っております。

それでは、大変お褒めの言葉が多かったということでございますので、今の報告とご意見を踏まえまして、この部会の方向性はこのような形で審議を進めていただくということでご承認をいただければと思います。よろしいでしょうか。

[拍手]

植木委員長 拍手全員ということでご承認をいただきましたので、いろいろな意味でこれから大変重たいと思いますけれども、あと二、三回の会議の中でどんな形で準備会ができるかまでひとつ仕上げていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

イ 市民活動・絆づくり部会の検討経過及び意見交換について

植木委員長 それでは、次の議事に移りたいと思ひます。市民活動・絆づくり部会の検討経過及び意見交換についてに入りたいと思ひます。市民活動・絆づくり部会の鈴木(隆)部会長から検討経過の報告をお願ひいたします。よろしくお願ひします。

鈴木（隆）委員 市民活動・絆づくり部会の調査審議状況についてご報告させていただきます。

資料4をご覧くださいと思います。こちらの表の面は何度もお話ししていることですが、改めてご説明させていただきます。まず1の部会が目指すものからご説明いたしますが、本部会の審議テーマとしまして、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」ということで進めてまいっております。また、多くの麻生区民の方が地域活動に参加するための方法を検討し、そして区民が地域の担い手の一員であることを意識してもらうような取り組みというのを議論してまいりました。その中で、これも何度もご説明しているのですが、(1)の下の図でございますが、担い手づくりのサイクルということで、地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する、そして、そのような活動によって健康寿命が実現されるという、このような具体的な図を念頭に置いて議論を進めております。その中で、やはり2年間でこのサイクルを回すというのはかなり難しいのではないかとということで、きっかけとなる機会が何なのかというところをさらに議論を深めてまいりました。

また、本部会では地域活動の担い手と対象というところも議論をしてまいりまして、担い手については、多くの区民が世代に関係なく地域活動に参加するための方法を検討すると。対象については、人だけではなくて、緑や教育なども含めた地域にかかわるもの全てという形を定義しまして進めております。

その中、審議の方向性としてさまざまな意見が出たのですが、市民活動団体の活動を知る、触れる機会があれば興味・関心を持ってもらうことができ、地域活動に参加してもらえるのではないかと。つまり、興味・関心を持ってもらうきっかけとなる機会を考えていくことが必要なのではないかとというところでイベントが有効ではないかというご意見が出てまいりました。過去のさまざまな市民活動のイベントの事例、または他区やほかの地域での事例なども出しながら話を進めてまいりまして、部会の委員の中でイメージの共有を図ってまいりまして、最終的に機会づくりの方向として、区民が麻生区の市民活動団体を知ることができるキックオフイベントを開催するというところまで話がいったまいりました。

2の区民会議フォーラムということで、このキックオフイベントについて有効かどうか、果たしてこれが地域の方たちが市民活動団体を知ったり、触れる機会になるのかという検証になるかどうかということで、これを区民会議フォーラムとさせていただいて、キックオフイベントを実施いたしました。このキックオフイベントのテーマとしましては、「麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」でございまして、これを2月3日土曜日に開催いたしました。こちらの開催につきまして、魅力部会の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。このイベントを通して地域活動を知ってもらうことで身近に感じてもらい、興味を持ってもらって参加につ

なげることとを目的とし、まして、「知ろう」、「つながろう」、「楽しもう」という3つの枠組みで目的を持って実施しております。「知ろう」については、麻生区には特徴的な活動があること、多様な活動があることを知ってもらう、自分の趣味や特技が地域貢献・社会貢献につながることを知ってもらう。「つながろう」については、イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながる、自分のこれまで経験したことが地域貢献・社会貢献につながることを体感してもらうという体験型のイベントになります。また、「楽しもう」については、「知ろう」、「つながろう」を通じて楽しんでもらうというようなコンセプトのもと行いまして、対象は、全世代に参加してもらうことを念頭に置きつつ、麻生区在住の小学校低学年以下の子を持つ子育て世代に来ていただくような設計をしまして、広報をいたしました。

2月3日土曜日の13時から16時にこの4階のフロアを使いまして行いまして、参加団体としては10団体にご協力いただきました。こちらの団体様については事前に説明会も開きまして、このキックオフイベントの趣旨などを十分ご理解いただいた上で今回ご協力いただくという流れをつくりまして、ふらっと新百合ヶ丘様とか、ガールスカウト神奈川県第32団様とか、以下の皆様についてご協力をいただき、そのご協力もあって、結果、当日は親子を中心に約300名もの参加がございました。

裏に移らせていただきます。イベントプログラムとしましては、大きく2つに分かれていまして、ステージパフォーマンス・プレゼンテーションの部と体験ブース・情報提供コーナーの部となっております。ステージのパフォーマンスについては、やはりイベントに多くの方に来ていただくためにも少し呼び込みを強化するべきだということで、賑やかしという言葉が適切かちょっとわからないのですが、皆さんが最初に盛り上がるような内容を考えて、bless4というパフォーマンスグループに来ていただいたり、あとはあさお運動普及推進員の会にリトミックをしていただいたりなどしてパフォーマンスとして舞台を盛り上げていただくのと同時に、各団体様にもそれぞれの団体のPRをしていただくような機会をつくりました。また、大学生によるゲームコーナーも行って、お子さんたちがなるべくその場にいていただいて、ご両親とか、保護者の方たちがずっといていただくような仕組みというか、工夫をさせていただいて、おおよそ最初から最後まで多くの方たちが残っていただけました。

今回、このイベントをするに際しましてアンケートの内容も考えておりまして、当日お越しになった方が帰られる際にアンケートに答えていただけるようにアンケートの部屋を用意させていただいて、そちらにご案内してアンケートをとらせていただきました。その結果、区民会議フォーラム（キックオフイベント）の検証でアンケート結果の一部を掲載させていただいております。興味・関心を持つことができたかについては、7割以上の方が興味・関心を持たれた。また、団体の活動内容を知ることができたかという質問に対しても、7割近い方たちが知ることができたと。また、活動

を身近に感じることができたかという質問に対しても、6割以上の方が、今までは団体等を知らなかったけれども、身近に感じることができたと回答しております。

ただ、今回のきっかけから参加につなげるというようなイメージの図を思い描いておりましたが、活動を始めたいと思ったかについては、「始めたい」が11.3%にとどまっているのですが、全体の半数が「普通（どちらでもない）」を選択しております、実はこちらのアンケートに答えた方の7割近くが三、四十代の方でございまして、やはりお子さんに手がかかる時期なのかもしれないのですが、活動に参加というところまではちょっと揺れている状態。でも、「参加したくない」を選択していないということは、何かしらご興味を持っていただいたのかなと。この「普通」というのを5割以上の方が選択されているというのは非常に興味深い結果なのかなと思っております。

あとは、こういう団体様の活動にどんなきっかけがあれば参加したいと思うかという質問もしております、イベントで知るきっかけになれば、もしかしたら次は参加につながるかもしれないという結果も出ております。

これは参加者に対してのアンケートですが、もう1つ、参加団体に対するアンケートの結果が出てございまして、参加者をつなげることができたかということに関しては、9割ぐらいの団体さんが参加者をつなげることができた、体験ブースなど体験を通じていろいろお話をしたりとか、コミュニケーションをとってつながることができたと。意見を見ると、楽しさを知ってもらえた、活動を知ってもらえたという印象を持たれているということです。

団体同士のつながりということになりますと、こちらの仕組みが甘かったのか、たくさんの方たちがいらっしゃったので、なかなか団体様とのつながりをつくることができなかつたかなということがあって、一部の団体さんは始まる前とか、ちょっと余裕があるときに隣同士で話したりとかということがあったようなのですが、こちらもそういう団体さん同士がつながるような時間を意識的につくることができなかつたというのは反省点かなと思います。

アンケートを受けまして、イベントの開催を通して改善点が多く見つかりましたので、こちらについてもさらに検証と照らし合わせながら、また議論していきたいと思っております。

(3)に行きますが、先ほどからアンケートの項目でもいろいろ出ているのですが、部会としていろいろ議論された中で9個の検証項目が実はございまして、以前ご紹介したかもしれないのですが、地域に関心や目を向けることができたか、麻生区で活動する団体と活動内容を知ってもらうことができたか、活動を身近に感じてもらうことができたか、活動に興味・関心を持ってもらうことができたか、活動に参加したいと思ってもらえることができたか、自分の興味や特技が地域貢献・社会貢献につながることを知ってもらうことができたか、イベントに参加した人同士がつながる

ことができたか、自分のこれまでの経験したことが地域貢献・社会貢献につながることを体感してもらうことができたか、その他特記事項となっております、今回キックオフイベントを行って、検証をするために9個の項目を挙げたわけですが、2月15日に部会を開かせていただいて、検証と照らし合わせながら行って、7点ほど検証の結果が出ております。

まずは活動に興味・関心を持ってもらうことや活動内容を知ってもらうこと、身近に感じてもらうこのキックオフイベントは、先ほどの参加者アンケートの結果からイベントとして有効であったと感じました。先ほど詳しく説明してしまったのですが、活動を始めたいと思ったかについては、「普通」と選んだ人もいたので、揺れ動いている方がいらっしゃるようで、やっぱり複数回のイベントが必要で、継続的に行っていく必要があるのではないかというご意見もありました。もう1つは、先ほど林副委員長からお話でしたが、やはり小学校にチラシを配る、公的機関の信頼度の高いところから配ることで人がかなり集まったという結果も出ております。このようなイベントで興味や関心を持ってもらうことによって、どうしようかな、やりたいけれども、どうすればいいのかなという人たちに対して人材発掘につながると思われるというご意見もありました。

また、ほとんどの団体さんがこれをきっかけに参加者の方とつながることができたという回答も得られているため、キックオフイベントは団体さんを知ってもらう機会として有効であったのではないかというご意見もありました。ただ、先ほどもありましたけれども、団体様同士のつながりが薄いため、このイベントを開く前に交流の場を何度か設けたほうが良かったのではないかというご意見もありました。また、準備期間がかなり短い、タイトなスケジュールで行ったために、団体様とコミュニケーションが十分にとれなかったというのも反省点でございます。そして、今回、部会の目的としては全世代というふうにしているのですが、子育て世代を対象としてイベントを絞ったことによってわかったことは、やっぱりテーマを絞ってイベントを開催することで、そういう対象の方が来てもらえたことが有効であったのではないかと。広げることはすごくいいと思うのですが、広げることによってイベントの趣旨とかが伝わりづらくなってしまいうので、絞ることによってイベントの意味とか目的が理解されやすいのではないかということで、今回、その結果、300人のうち、30から40代の方が7割近く来ていただいたというのが、こちらが目指すところの結果が出たなという感じがいたします。

4に進みまして、この結果、提言に向けた検討としまして、3つの検討をこれからさらに深めてまいりたいと思っております。①が活動参加へのきっかけ作りとなるイベント等の開催、今回のキックオフイベントのようなイベントを開催するということです。②がイベント等の実施方法についてです。こちらについてもまだ振り返りがで

きていないところがありますので、十分振り返りをしまして、どういうイベント設計が的確なのかというところについても議論が必要かなと思います。③が、先ほどもちょっと出ましたけれども、市民活動団体同士の連携強化です。コミュニケーションや交流をしてからイベントを開催するとか、そういう機会を十分に設けて、ご理解していただいた後に行っていくことが必要なのではないかというところですよ。

①について詳しくお話ししますと、このようなイベントがアンケート結果から有効であったということがわかりましたので、これについて深めていくということと、②については、一番重要なところが先ほども魅力部会の方で出ていましたけれども、どういう体制で行うかというところがまだ全然議論が進められていないのですが、区民、関係機関、行政で協働した体制を実施していく必要があるのではないかとのご意見が出ておまして、ただ、これが実際どういうふうな体制かというところも議論が必要かなと思います。③については先ほどお話ししたとおりで、このような交流の機会を設けることによって関係強化を図る必要性があるのではないかとということです。

区民会議フォーラムを終えまして、まだ1回しか部会が開かれておりませんので、提言の詳細については、今後部会でさらに検証結果を振り返って議論を深めてまいりたいと思いますので、この3つの議論をしていくということについてもまだまだ時間が必要かなと思っております。

以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。

フォーラムの内容につきましてきめ細かくご説明をいただきましてありがとうございました。1回目の検証のときにいろいろな議論が出ましたけれども、そこら辺、誰かフォローしていただければと思うのですが、佐野委員、いかがですか。

佐野委員 ただいま鈴木（隆）部会長からご説明いただきましたが、日ごろ地域活動には参加する機会のないとか、参加しないとか、そういうことに関してアンテナを張っていない人たちがどうやってつかむことができるかというのをきっかけにこういう発案をしたわけで、それで300名というのは私どもの予想以上の方が来たということは、やはり全く興味・関心がないわけではなくて、何か楽しいことがある、今回、親子でということを特徴的に出したところがあるのですけれども、親たちは、子どもが楽しむなら、親も一緒に楽しめるなら行ってみようかということで、しかるべき何かキャッチーなものを出せば、必ずそういう方たちも興味・関心を示してくれるということが300名というところでの大きな収穫があったなというのは感じております。

ただ、若い方たちが直接これを繰り返すことによって地域活動団体の一員となってくれるかという、そこはまた別の話でありまして、やはり時間的なものとかがあり

ますので、繰り返しイベントに参加してもらおう。その中で子どもが地域活動の中で楽しめたということが、またお父さん、お母さんたちが子育てが終わった後に、子どもたちが地域でいろいろ楽しい経験をさせてもらったのだから、自分たちも時間があつたときに次の世代の子どもたちが楽しむことに手を貸してみようとか、またさらに先になりますと、楽しく過ごした子どもたちが親世代になって、自分たちがこういう経験をしたのだから、自分の子どもにもこういう楽しいことが地域であるということを感じさせたいというかなり長いスパンにはなってしまうかもしれませんが、種をまいておくということではかなり大きな成果があつたのではないかと考えております。ですから、1回、2回の短期的なものでの収穫ではちょっと難しいところはありますけれども、一応皆さんの地域の中の方たちに種をまいておいて、ちょっと知ってもらおう、興味・関心を示してもらおうことが、将来的に時間があいたときに、そちらの方に時間を向けてみようと思わせるような意識づけにはなつたのかなと考えております。

あと、最初、私どもがこのイベントをするときに、既存のイベント、区民まつり、福祉まつり、やまゆりさんもやっていたらしゃいますが、それとの差別化、区別化をつけなくてはというところを話してはいたのですが、逆にそこまで意識しなくてもいいのではないかと。部会長からもご説明がありましたように、そういうものと協働して一緒につくり上げていくことも相乗効果ということで意味があるのではないかと。これが今回いろいろ議論した結果で出てきた結論でもございます。ですから、これから6期の集大成に向けて、提言に向けていろいろ議論を進めていくところでございますが、今回のイベントでわかつた検証を踏まえて区民に対して提言できるものが今回のイベントである程度大きな要素が見つかつたと思っております。

植木委員長 ありがとうございます。

関根委員、何かフォローはありますか。

関根委員 部会長から詳細にわたって話が出ていますので、ご理解いただけたかと思えます。我々はこの机の前でディスカッションをしておりますが、はっきり言って、こういう市民活動というのは人が動かなくてはいけないわけです。そういう意味では、この開催は、我々実施した側の知識不足ということで、参加者と活動をご支援いただいた団体、こういう2つの見方で分けると、ちょっと我々も力不足だった。市民活動団体の方の実施される内容とかをもう少し理解してしなくてはいけなかつたのかなと。あるいは、会場についても同じだし、人の流れについても同じ。そういうふうに感じました。あと、参加された方については、先ほどお話が出たように300名近い方が出て、我々が検証とするところの目的を非常に果たせた、これは大変数多い内容のデータを提供していただけたということです。また、たくさん集まつたということについては事務局のお力があつて、小学校等さまざまな場所への配布を含めまして、いいチラシができた。こういうことから、やはり参加者が多かつたのではないかと考えております。

問題は、我々はここで終わるのではなくて、こういうことを今後10年、20年先、どうして継続していかなくてはいけないかということこれから報告書を出さなくてはならないのですが、先ほど魅力部会の部会長もおっしゃっていたとおり、今暗中模索のようなお話をされたけれども、今後これをどういうふうに進めていくのかというのはまだお互いに話をしているところでありましてとおっしゃいましたけれども、我々も全く同意見でありまして、こういうような内容をどうして今後継続していくか、そういうところが今一番悩み多いテーマとして残っております。

実施した方は、このフォーラムは80%成功であったと、いいデータもいただけたということでは、うちの部会長が報告したように、結果良しと判断していただければ幸いに思います。

以上です。

植木委員長 問題は、検証の結果についていろいろご意見をお持ちだと思うのですが、高倉委員、いかがでございますか。

高倉委員 私もフォーラムのお手伝いをさせていただきました。絆づくり部会の皆様方、ご苦労さまでございました。盛会で何よりだと私は思っております。

今、各部会長を初め、お三方からいろいろお話をされたので、私の方からあえて言うようなことはないのですが、1つ2つ気になるのは、先ほど部会長の説明でありました提言に向けた検討はこれからだということでございます。例えば①の活動参加へのきっかけ作りとなるイベント等の開催、この辺はやっぱり具体的に提言していかないとなかなか実現性がないのかなと思うし、提言を出したら区長の方も取り扱いに困るのではないかと思いますので、限られた時間ではございますけれども、この後できるだけ具体的にやった方がいいと私は思っております。

それから、先ほど佐野委員からもちらっと意見がありましたけれども、例えば今、子育てフェスタを毎年やっていますし、ちょっと具体的な名前が出てきませんが、活動団体の発表会、ポスターセッションみたいなこともたしかやられているはずで、そういったのをやっているイベントとのすみ分けと申しますか、逆に言えば折り合いをどうつけていくかみたいなことも少し提言の中で書いていかないと、どうしてもごっちゃになってしまうと思います。

そう申し上げるのは、先ほど冒頭に申し上げましたように、私はフォーラムを手伝わせていただいたときにぱっと感じたのは、確かに市民活動の意識調査とか、皆さん方が参加者にどう対応するかを見ているのですが、はたから見た表現されている形は、子育てフェスタに近いものがあるなと私は思いました。ざっくりばらんに申し上げて。そういったことを考えると、やっぱりそういうイベントが既にあるので、先ほど申し上げたその辺との折り合いとか、すみ分けとかをどうつけていくかというのをきちんと出してあげないと、もうちょっと提言のほうで突っ込んでまとめられた方がいい

と、まとめられたらどうですかと私は思っております。

以上です。

植木委員長 ありがとうございます。今、子育てフェスタにつきまして差別化を云々という議論がまず出たのですけれども、差別化というよりも、どちらかという、どういう具合にうまく折り合いをつけて1つのイベントをつくり上げていくのかという方がいいのではないかと。それで、子育てフェスタもどういう具合になっていますかという、これは区役所がやっているようで、だんだんメンバーも減ってきているというような状況もお聞きしていますし、やはりイベントをやるというのはそれなりに汗をかきまですし、時間も使うということで、指を出す人がなかなか少ないというのが現状ではないかと思しますので、地域にあるそういう力を、差別化ではなく、どういう具合にくっつけていくかという方向で提言をしたいものだなという話になっておりますので、今後そこから辺につきまして検討していきたいと思っております。

子育てフェスタということが出ましたので、橋本委員、何かありますか。

橋本委員 本当にお疲れさまでございました。それぞれの部会がいいまとめ方をされているし、ご苦労が多かったかなと思うのですが、ちょっと私が感じたのは、9月に子育てフェスタがありましたよね。そういった部分との比較というか、違いというか、それが調査研究を提言するがために行われた行事のような捉え方になったのはもったいなかったかなというのを感じたのと、こちらはテーマが市民活動・絆づくりということがメインになっていますから、絆づくり的な要素を含んだイベントとは何ぞやと、そこから辺を絞り込んでいかないと、私は受付をずっとやっていたのですが、いろいろな人を総花的に、手を挙げたところが参加するという形でしたよね。ですから、そこが練り込まれていない。絆づくりに持っていくためにはどんなイベントを開催したらいいかという深みがなかったかなということをご苦労されているのに言ってはいけないのですが、そういう感じが今後の課題だなと思います。

以上です。

植木委員長

ありがとうございます。いずれにしても、これはキックオフということで、トライアルという見方も1つあると思しますので、トライアルしたものが最初からパーフェクトということはある得ないわけですので、それなりにプラスの面、それなりに直すべき点等々、今回のイベントの中で生まれたのではないかと思いますので、それらをこれからの部会の中でどういう具合に提言までまとめていくかということをも1つ期待申し上げたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、老沼参与は途中で退席されるということなので、この2つの部会の報告をお聞きになって、何かアドバイスをいただければと思ひます。

老沼参与 すみません、この後いろいろあるもので退席しますけれども、本当にさまざま

な活動、そして本日の議論、ありがとうございます。新百合ヶ丘を中心としていろいろなイベントがあつて、差別化、区別化、いろいろあると思うのですけれども、麻生区の魅力って何だろうということを今ここで皆さん非常に議論されていることも1つ大事だと思うのですけれども、一度外に出たり、また外の方が麻生区を見てもらって何に興味を持つのかという点もぜひ興味を持っていただきたいなと思います。ずっと私たちが見ているものの中で一番いいものを発信していくことも1つの側面として非常に大事だと思いますし、今度は外から来た方が、麻生区ってこんな場所なのだなと新しい発見、私たちも新しい発見をすることによって、また将来に向けての麻生区づくりができてくるといいますので、そういったことがまたキーワードになってくるかと思ひますので、1つ頭の片隅に置いてやっていただければと思いますので、よろしくお願ひします。本日はありがとうございます。

植木委員長 ありがとうございます。勝又参与は最後のほうでまたひとつご意見をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

委員の皆様でご提言、ご質問等々、海崎委員は何か言いたそうだけれども、いいですか。

海崎委員 結局、絆づくり部会の方は実験ですから、制度設計面でも非常に工夫の範囲ではいろいろ、私も司会なんかをやりましたけれども、5分ですので、みんなを集めたときに、どなたもやっている活動内容は大体発表するのです。何で、どういう思いでやっているのというのを話してくださいよと、そういう思いでおもちやづくりをやっているのかとか、より興味が湧くのではないかと思ひてそういう話をしたのですけれども、途中で諦めまして、5分では無理だというのが反省点。

それから、結局は1回で「普通」という人はいたと思ひます。1回やってすぐやりますよなんて人は非常に少ないと思ひますので、継続することがやっぱり大事で、継続するためにどういう体制を組むのだと、今までの反省点を踏まえまして、そうすると、普通は大体継続できないのです。子育てフェスタも含めて数回やると志が落ちてしまうというのがありますので、それをどうやっていくかということで、個人的に、誰にも言っていないのですけれども、もうちょっと活動している人を主体にやってもらふ。我々が選ぶのではなくて、活動している人を主体にして設計するようなことがあると、より団体も活発になるのかなというのがありますので、キックオフですので今回はこれでいいと思ひますけれども、いろいろ改善点なり、工夫の余地はいっぱいあると思ひますので、ぜひとも体制を組んで継続することが重要だと思ひます。

植木委員長 ありがとうございます。

では、高橋副委員長、何かありますか。

高橋副委員長 では、一言だけ。もう十分に審議は尽くされていると思ひますが、やはり

キャッチフレーズの親子で体感、そしてもう1つは、麻生区民であることも一緒に体感していただけたのではないかと考えております。こういうイベントがこれからまた未来につながっていくことと思いますので、会議としては第6期でお休みということでもありますけれども、また麻生区民であることをととても——麻生区民というのはお祭りが好きということと、若い世代の方が多いいということもありまして、投げかけてくれると、本当にバギーを引きずりながら、また子どもと一緒に手をつなぎながら麻生区役所に来てくださるということは、同時に区民でよかったということを感じていただけたと考えております。ありがとうございます。

植木委員長 松田（通）委員、何かありますか。

松田（通）委員 皆様のご意見はとてもよかったです。

植木委員長 皆さん気が弱いので、指名しないとなかなか発言しないというのは困るのでございますけれども、それでは、大体皆さんの意見が出ましたので、今報告をいただいた内容と意見を踏まえまして、絆づくり部会につきまして、この方向で審議を進めていくということでご承認をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

〔拍手〕

植木委員長 拍手をいただきましたので、承認ということにさせていただきたいと思っております。

ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

植木委員長 それでは、次の議事、企画部会の検討経過報告及び意見交換についてに入りたいと思っております。企画部会の高倉部会長から検討経過の報告をお願いいたします。

高倉委員 私からは、企画部会での検討経過を簡単にご報告させていただきたいと思っております。

お手元に資料はございません。企画部会では各専門部会の進捗を確認させていただくことが大きな仕事でございます。その結果につきましては、先ほどから各専門部会のご報告がありましたので、特段申し上げることはございません。今日お話しするのは、企画部会の活動の中の広報広聴活動の1つとしてやっております区民会議ニュースについてでございます。

前回のこの会議で第5号の発行を2月か3月頃と説明いたしましたけれども、具体的には、ちょっとスケジュール的な都合もございまして、3月の半ばに印刷、発行、4月に町内会回覧とさせていただくということをお願いしたいと考えております。

掲載内容といたしましては、先ほどからお話がありました2月3日に開催されました区民会議フォーラムの結果をメインとしたいと考えております。その他に区民の方からご意見が寄せられれば、これも掲載していきたいと思っております。それから、次回、5月15日の会議、第6期の最後の全体会議につきまして、傍聴者を広く募集

といいますか、傍聴に来ませんかということで考えておりました、それを少し大き目に掲載したいなと思っております。そんな形で第5号を3月印刷、4月回覧という形で発行させていただきたいと思っております。

なお、その次の第6号が最後になりますけれども、これには第6期の提言の概要を掲載いたします。ということは全てが終わってからということでございますので、6月発行、7月町内会回覧という形にさせていただきたいと思っております。5月で全体会議が終わりますので、その後にやらせていただきたいということで区民会議ニュースの発行を考えております。

以上です。

植木委員長 ありがとうございます。それでは、今の高倉委員の説明につきまして、何か補足とかご意見はございますでしょうか。意見は多分ないと思っておりますので、今後も区民会議ニュース、区民会議の広報を企画部会でお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(2) 区民会議報告書について

植木委員長 それでは、議事(2)区民会議報告書についてに入りたいと思っております。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、区民会議の報告書についてご説明をさせていただきます。資料5と6をご覧ください。

本日は報告書の概要とスケジュールの確認をさせていただきたいと存じます。まず資料5の真ん中のところに、本日、2月20日の全体会議、報告書の概要とスケジュールの確認となっております。この後、3月末の報告書素案の確認に向けまして、各部会で内容の確認と作成を行っていただきまして、3月末に報告書素案確認となっております。その内容をもちまして企画部会でも報告書の案という形でご検討いただきまして、5月15日の全体会議におきまして報告書の最終案をご確認させていただきたいと考えております。そこでご確認がとれましたところで6月末の報告書提出というスケジュールで進行させていただきたいと存じます。

資料6をご覧くださいまして、報告書の構成でございます。参考に、左側に第5期の報告書の目次を挙げておりました、右側が第6期の報告書の目次となっております。全体的な構成としては第5期と同じような形でいこうということが前回の企画部会でも確認をされております。ご説明いたします。第1章では麻生区区民会議について、第2章で第6期区民会議について、審議課題の選定から審議の流れ、会議の構成、役割等について記載をいたします。第3章で各部会の審議と取組について、企画部会、麻生区の魅力の発掘・発信検討部会、市民活動・絆づくり部会について、それぞれ記載をお願いしております。第4章で区民会議フォーラムとして開催しましたキ

ックオフイベント「親子で体感してみませんか。～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～」についての報告をさせていただきます。第5章で提言として、各部会から提言、最後に第6期の区民会議を振り返ってという章をつくらせていただきます。最後には資料編として、今までのアンケートですとか、区民会議ニュースとかの資料をつけさせていただき予定でございます。このような形で進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

植木委員長 ただいまご説明をいただきましたけれども、基本的に第5期と第6期で同じという内容になりますけれども、これではつまらないやというご意見がありましたら、いかがでしょうか。

同じでいいねという意見のようでございますので、それでは、このスケジュールで進めていただくということをお願いしたいと思っております。

(3) 区民会議からの麻生区市民提案型協働事業審査委員会委員の推薦について

植木委員長 それでは、議事(3)区民会議からの麻生区市民提案型協働事業審査委員会委員の推薦についてに移りたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料7をご覧ください。麻生区市民提案型協働事業審査委員会委員の推薦についてでございます。詳細は裏面をご覧くださいませでしょうか。上半分の方に案として記載してございますが、こちらの会議の設置目的は、麻生区の課題の解決に資する事業を提案する団体と当該区が協働して実施する事業の選定及び評価に対して調査審議するという会議でございます。任期は2年、平成30年2月24日から平成32年2月23日になるものでございます。ただし、今回、区民会議が6期で一旦休止となっておりますので、今回ご推薦いただく委員の活動は、6期の区民会議委員の任期終了までとなります。現在は菅野委員に就任していただいております。引き続き菅野委員にご推薦をいただきたいと思っておりますが、ご確認をいただきたいと思っております。

植木委員長 ありがとうございます。ただいま説明がありましたとおり、区民会議から菅野委員を推薦することということでございますが、皆さん異議はないと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。それでは、拍手でひとつご承認いただきたいと思ひます。

[拍手]

植木委員長 それでは、菅野委員、引き続きよろしくお願ひいたします。

(4) その他

植木委員長 それでは、本日の議事は以上になりますが、皆さんからはご指名をしながら

意見を出していただきましたけれども、ありがとうございました。事務局から何かございましたらお願いいたします。

事務局 では、先ほど申し上げたところですが、次回、第7回の全体会議ですが、5月15日火曜日の15時から開催させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

植木委員長 ありがとうございます。

それでは、本日、お忙しい中ご出席いただきました勝又参与から、途中からなのでどういうぐあいにお話になるかわかりませんが、毎回出ていただいておりますので、そんなことを含めまして、何かご意見をいただければと思います。

勝又参与 遅く参加させていただいたのですけれども、申し訳ないなと思います。だから、最初の魅力発掘部会のところは参加できていません。市民活動・絆づくり部会の途中から参加させていただきましたが、私自身もこの参加団体の10団体のうち、知っているのは3つぐらいで、あとは分からないというところがあるので、こういう取り組みをするときに、先ほど主催する側が参加する団体がどういうことをしているのかというのが分かっている取り組みができればよかったという話がありましたけれども、なかなか大変なことだなと思います。とりあえず初めての取り組みということで課題もいろいろ出てきていると思いますので、1回きりで終わるのではなくて、続けていくことがとても大事だという話がありました。私もそれを思いながら話を聞いていました。大変なことですけれども、こういうのは1つ1つの取り組みが、話の中にもありましたけれども、親子が楽しめるということと、子どもが地域の活動を知って、親もそれを知って、家庭に戻ってもお互いに話し合うこともできるだろうし、将来に向けても、こういうものがあるから自分もこういうのに参加したいとかといういろいろな思いができて、その中で参加した人同士が絆を結んでいくこともできると思うし、そういう意味では、こういうのはとても大事だなと。それ以外のところでも、子育てフェスタもそうですけれども、やっぱりつながりが持てるというのは本当に今薄くなっている状況ですから、大切なことだと思っているので、この取り組みを続けていっていただけたらいいなと思いながら聞いていました。もう1つの方は聞いていなくて申し訳ないと思います。引き続き区民会議には参加したいと思っていますので、よろしく願いいたします。

植木委員長 ありがとうございます。勝又参与は多分毎回出席をさせていただいているのではないかと思います。大変ありがたく思っております。

次に、本日の審議を踏まえまして、最後に北沢区長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

区長 皆さん、大変お疲れさまでした。今回の全体会議では、先般行われました2月3日の区民会議フォーラムの結果も踏まえた形で、大分提言に向けてという方向性が見え

た中でのご議論だったのかなと思います。大変熱心にご議論いただきましてありがとうございました。また、申し遅れましたけれども、先般の2月3日の区民会議フォーラムに大勢の皆さんが参加してくださったその準備に向けても、皆さんのご苦勞、大変にありがとうございました。やはり情報発信ということでの1つの成功事例かなと感じました。300人の方々が来てくださって、親子で楽しんでいる様子を私も目で見させていただきました。そして、部会でそれぞれ検討していることをこの第6期の区民会議の委員の皆さん全員が携わっていただいていたということがすごく感動と言うと大げさかもしれないのですけれども、大変ありがたく思いました。

そして、先ほど関根委員から、自分たちも市民活動団体のことを知らないというご意見をいただいたときには、本当に良かったのだなと。この区民会議フォーラムをキックオフイベントということでやったことで見えてきたことがたくさんあったということを知ることができましたので、これを生かしていけるような形で提言をいただければ大変にありがたいなと思います。子育てフェスタも区民会議から発したイベントですけれども、かぶっているところもあるような状況ではあります。どちらにしても、それぞれもっと伸び代があるイベントになるのかなと思いますので、運営の仕方も含めてヒントをいただけるような提言をいただけたらありがたいなと、ちょっと欲張ってしまいます。

そして、もう1つの冊子の方です。「親子で体験するともっと楽しいあさお」、これはすごくいいと思います。麻生の魅力、歴史、ざっくりと全般が載っていて、そして最終のページにさらに冊子の紹介があるということがすごくうれしいなと思いました。それぞれに工夫されて、魅力の発信だとか、地域資源を紹介したものがたくさんありますので、これを見ればどんなものがあるのかが分かるということで、まずこれを見ればというものになっていただければ、転入された方にも喜ばれるかなと思っておりまして、活用の仕方はすごく広がってくるかなと思いました。

いずれにしても、これから取りまとめでまた皆さんにご苦勞いただくわけですが、最終的に5月に提言をいただけることとなります。私は今回の全体会で最後となりますけれども、提言書はいろいろなところで公表されると思いますので、しっかりと見させていただきたいと思います。今日も含めてですけれども、大変ありがとうございました。(拍手)

植木委員長 北沢区長、何か寂しいような気がいたしますけれども、ありがとうございました。お褒めのお言葉をいただいたということは、裏返せばそれだけ期待と責任を感じてくださいよということだと思っておりますので、それぞれの部会に残された回数は少ないと思っておりますけれども、北沢区長のご期待に添えるような形でぜひ提言をまとめていただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。

3 閉 会

植木委員長 それでは、以上をもちまして第6回の全体会議を終わらせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

午後4時16分閉会